

【がんセンター】

H28DPC実績に基づく、5大がんのマーケットシェアの抽出

2018年9月7日

目次

5 大がんのマーケットシェア(半径30km以内)

1. 疾患コード040040_肺の悪性腫瘍
2. 疾患コード060020_胃の悪性腫瘍
3. 疾患コード060035_結腸の悪性腫瘍
4. 疾患コード060050_肝臓の悪性腫瘍
5. 疾患コード090010_乳房の悪性腫瘍

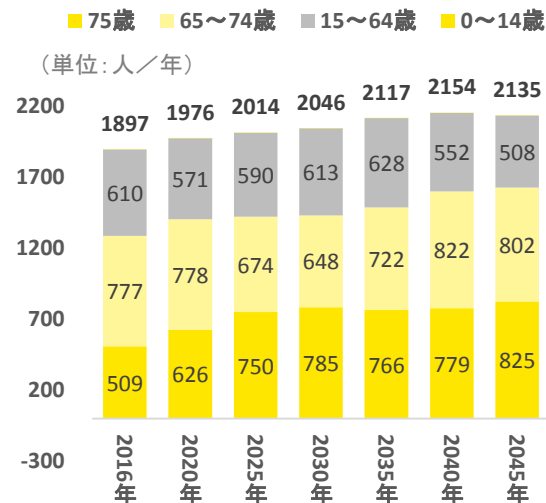
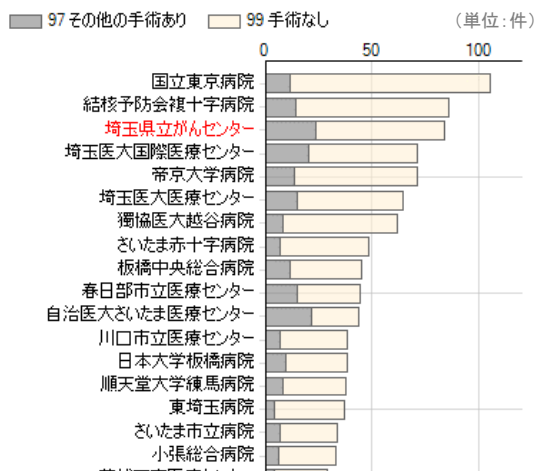
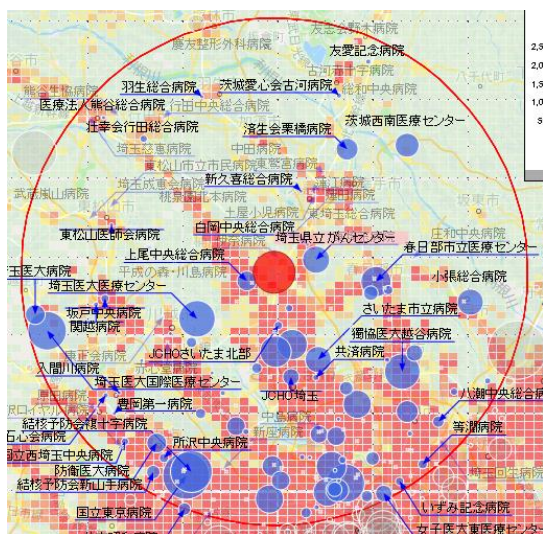
1. 疾患コード040040_肺の悪性腫瘍

- 埼玉県内で多くの患者を集めており、診療圏も広範囲で患者が獲得できていると思われます。
- 当該疾患の将来患者数は増加が予想されるため、前提条件の変更が無い場合には、がんセンターの患者数も**増加**が見込まれます。

【入院患者の分布(赤:多⇒緑:少)】

【半径30kmのシェア(退院患者数比較)】

【入院患者件数 将来推計】



- ✓ 東京都～埼玉県南部にかけて多くの患者が分布しています。埼玉県内では、鉄道／幹線道路沿線に多く患者が分布しています。
- ✓ ●の大きさはシェアの大きさを示しています。

- ✓ 近隣の主たる病院よりシェアが高い状態にあります。
- ✓ 埼玉県全域で広範囲に患者を確保できていると思われます。

- ✓ 半径30kmの将来入院患者件数は2040年まで増加が予想されます。
- ✓ がんセンターの入院患者件数も増加が見込まれます。

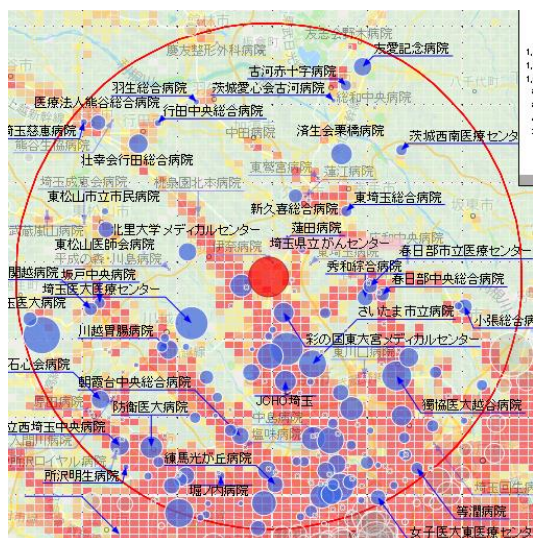
引用: DPCオープンデータ、H28データ(H30年公表)、厚生労働省

※ 入院患者の将来推計はエリア内の“年齢別推計人口”×“年齢別罹患率(DPCデータを基に算出)”にて算出しています。

2. 疾患コード060020_胃の悪性腫瘍

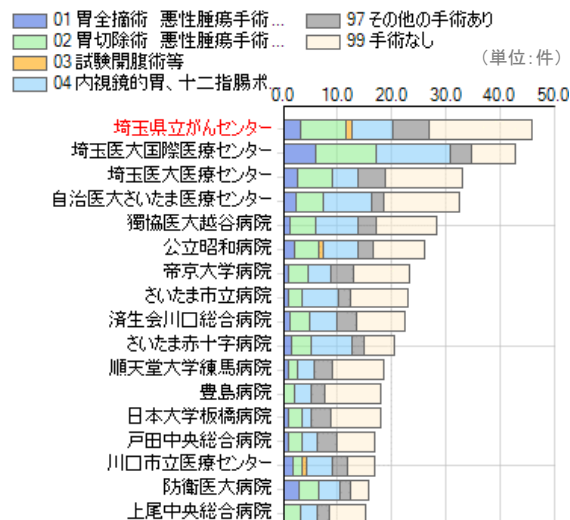
- 埼玉県全域で**No.1のシェア**を有しています。広範囲に患者が獲得できていると思われます。
- 当該疾患の将来患者数は増加が予想されるため、前提条件の変更が無い場合には、がんセンターの患者数も**増加**が見込まれます。

【入院患者の分布(赤:多⇒緑:少)】



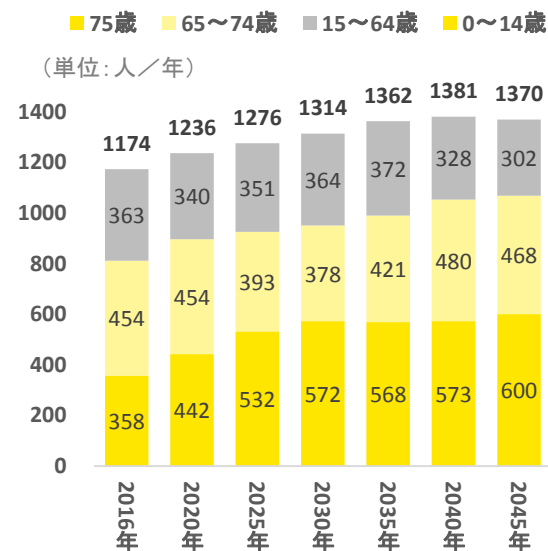
- ✓ 東京都～埼玉県南部にかけて多くの患者が分布しています。埼玉県内では、鉄道／幹線道路沿線に多く患者が分布しています。
- ✓ ●の大きさはシェアの大きさを示しています。

【半径30kmのシェア(退院患者数比較)】



- ✓ 近隣の主たる病院よりシェアが高い状態にあります。
- ✓ 埼玉県全域で広範囲に患者を確保できていると思われます。

【入院患者件数 将来推計】



- ✓ 半径30kmの将来入院患者件数は2040年まで増加が予想されます。
- ✓ がんセンターの入院患者件数も増加が見込まれます。

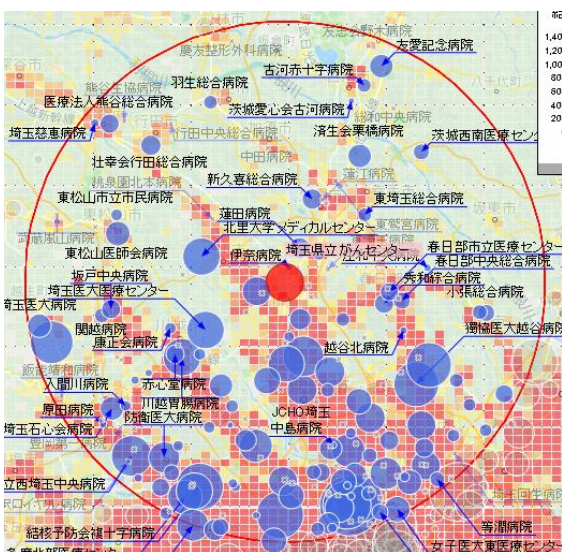
引用: DPCオープンデータ、H28データ(H30年公表)、厚生労働省

※ 入院患者の将来推計はエリア内の“年齢別推計人口”×“年齢別罹患率(DPCデータを基に算出)”にて算出しています。

3. 疾患コード060035_結腸の悪性腫瘍

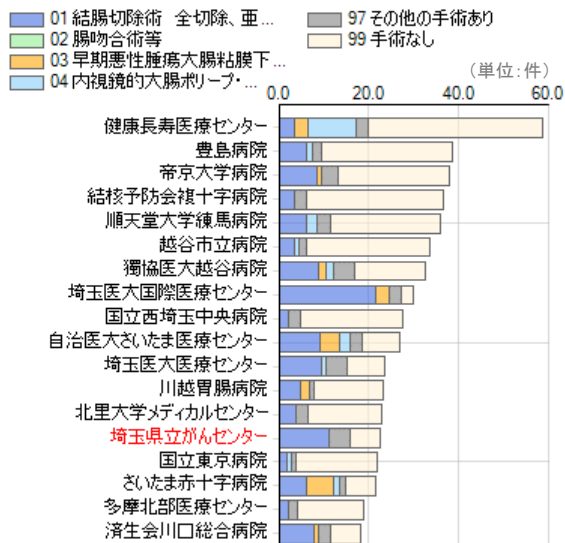
- ❑ 東京都への流出も多く、また均てん化が進んでいるため、近隣医療機関との競合が生じております。
- ❑ 当該疾患の将来患者数は増加が予想されるため、前提条件の変更が無い場合には、がんセンターの患者数も**増加**が見込まれます。

【入院患者の分布(赤:多⇒緑:少)】



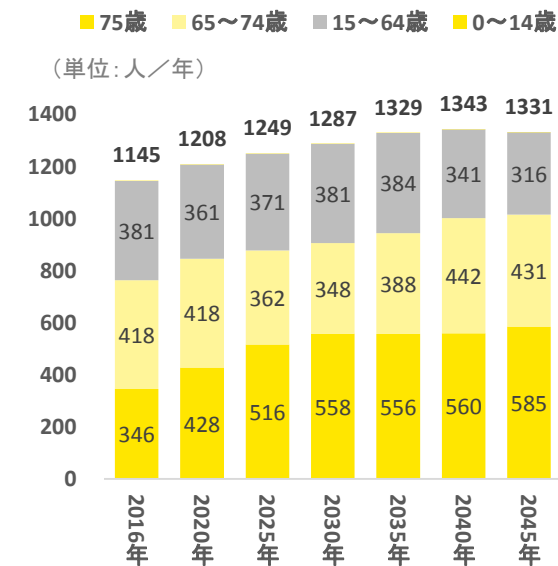
- ✓ 東京都～埼玉県南部にかけて多くの患者が分布しています。埼玉県内では、鉄道／幹線道路沿線に多く患者が分布しています。
- ✓ ●の大きさはシェアの大きさを示しています。

【半径30kmのシェア(退院患者数比較)】



- ✓ 東京都の医療機関へ患者が流出しています。
- ✓ 均てん化が進んでいるため、近隣医療機関との競合が生じており、広域での患者確保は難しいことが推察されます。

【入院患者件数 将来推計】



- ✓ 半径30kmの将来入院患者件数は2040年まで増加が予想されます。
- ✓ がんセンターの入院患者件数も増加が見込まれます。

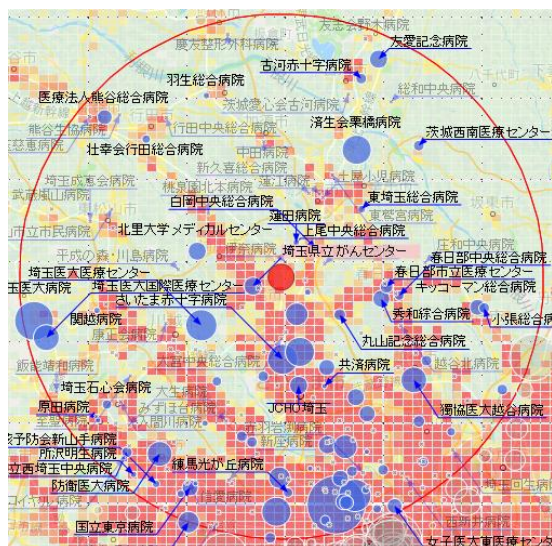
引用: DPCオープンデータ、H28データ(H30年公表)、厚生労働省

※ 入院患者の将来推計はエリア内の“年齢別推計人口”×“年齢別罹患率(DPCデータを基に算出)”にて算出しています。

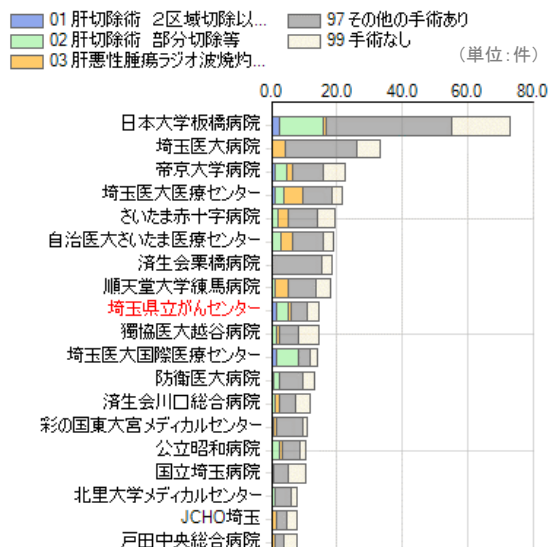
4. 疾患コード060050_肝臓の悪性腫瘍

- ❑ 東京都への流出も多く、また均てん化が進んでいるため、近隣医療機関との競合が生じております。
- ❑ 当該疾患の将来患者数は増加が予想されるため、前提条件の変更が無い場合には、がんセンターの患者数も**増加**が見込まれます。

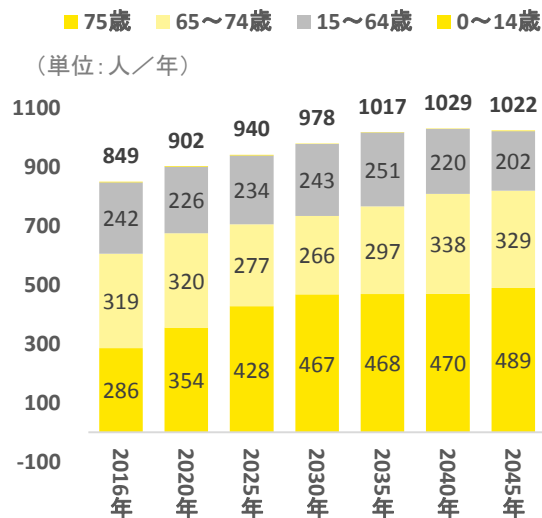
【入院患者の分布(赤:多⇒緑:少)】



【半径30kmのシェア(退院患者数比較)】



【入院患者件数 将来推計】



- ✓ 東京都～埼玉県南部にかけて多くの患者が分布しています。埼玉県内では、鉄道／幹線道路沿線に多く患者が分布しています。
- ✓ ●の大きさはシェアの大きさを示しています。

- ✓ 東京都の医療機関へ患者が流出しています。
- ✓ 均てん化が進んでいるため、近隣医療機関との競合が生じており、広域での患者確保は難しいことが推察されます。
- ✓ シェア下位の病院は省略しています。

- ✓ 半径30kmの将来入院患者件数は2040年まで増加が予想されます。
- ✓ がんセンターの入院患者件数も増加が見込まれます。

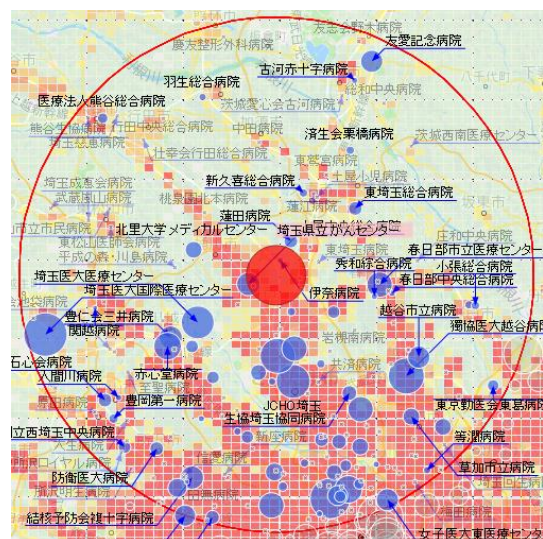
引用: DPCオープンデータ、H28データ(H30年公表)、厚生労働省

※ 入院患者の将来推計はエリア内の“年齢別推計人口”×“年齢別罹患率(DPCデータを基に算出)”にて算出しています。

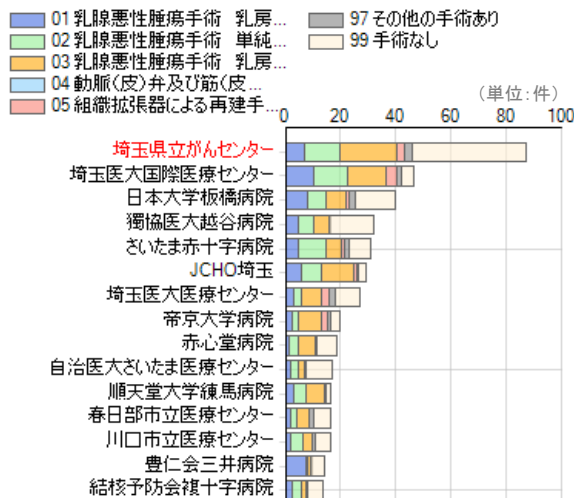
5. 疾患コード090010_乳房の悪性腫瘍

- 埼玉県及び東京北部でNo.1のシェアを有しています。手術あり／なし患者とも高いシェアです。
- 将来患者数は減少が予想されますが、シェアの高いがんセンターの患者数は横ばいと思われる。

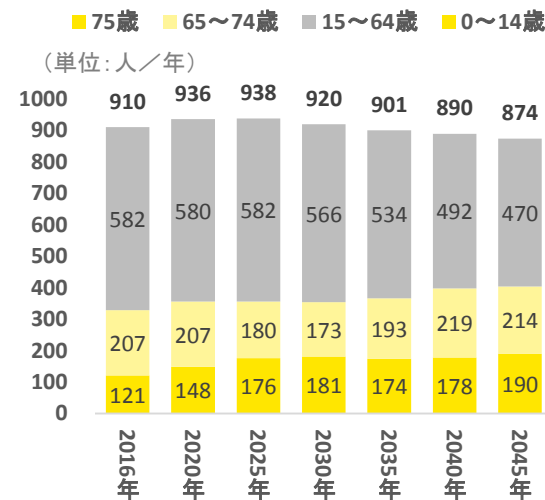
【入院患者の分布(赤:多⇒緑:少)】



【半径30kmのシェア(退院患者数比較)】



【入院患者件数 将来推計】



- ✓ 東京都～埼玉県南部にかけて多くの患者が分布しています。埼玉県内では、鉄道／幹線道路沿線に多く患者が分布しています。
- ✓ ●の大きさはシェアの大きさを示しています。

- ✓ 東京都北部／埼玉県南部の主たる病院よりシェアが高い状態にあります。
- ✓ 他院と比較して、手術あり／なし患者とも高いシェアを有しています。

- ✓ 半径30kmの将来入院患者件数は減少が予想されます。
- ✓ 一般的にシェアの高い病院に患者が集約するため、がんセンターの入院患者件数は横ばいで推移すると思われる。

引用: DPCオープンデータ、H28データ(H30年公表)、厚生労働省

※ 入院患者の将来推計はエリア内の“年齢別推計人口”×“年齢別罹患率(DPCデータを基に算出)”にて算出しています。